

香港市場リポート

定期航空便が就航した 香港での市場拡大

鹿児島県香港事務所 所長 西村元一 氏



2014年3月30日(日)より、香港と鹿児島を結ぶ定期航空便が週2便体制(日・木)でスタートしました。就航から3か月間の平均搭乗率は80%を超え、順調な滑り出しどうでいます。この定期便就航により、香港人観光客による県内での消費が期待されるだけでなく、香港における県産品輸出拡大のチャンスが一気に広がっています。

東京都の半分の面積というコンパクトな都市でありながら、海外から年間約5,430万人の旅行者(2013年香港政府観光局調べ)が訪れ、東アジアのショーウィンドーとしての機能を有している香港は、日本産農林水産物の輸出先として、7年連続世界第1

位の市場となっています。また、一部の商品を除き関税がかからないことや、輸出できる品目が多いこと等、貿易に当たつての障壁が少ないとから、海外におけるテストマーケティングの場としても活用されています。

このように海外輸出に際して魅力的な香港市場ですが、輸出しやすい市場というのは一方で競争が激しいことを意味しており、

消費者用に商品パッケージや数量をカスタマイズしたり、中華料理への活用方法の提案やブランド化に向けたプロモーション等を展開することが必要となります。

が終了します。この期間は、贈答品を購入する消費者が多く、メントを重んじ家族を大切にする中華圏の人々は、多少高価な商品で

あるが先読みしておくと、商品の定番化へ近づくだけでなく、取引量も増えることになるでしょう。



3月中旬に開催されたグルメイベントの鹿児島ブースの人気は高く、定期便就航の良いPRとなりました。

の市場となっています。また、一部の商品を除き関税がかからないことや、輸出できる品目が多いこと等、貿易に当たつての障壁が少ないとから、海外におけるテストマーケティングの場としても活用されています。

このように海外輸出に際して競争が激しいためにも、香港の消費者用に商品パッケージや数量をカスタマイズしたり、中華料理への活用方法の提案やブランド化に向けたプロモーション等を展開することが必要となります。

が終了します。この期間は、贈答品を購入する消費者が多く、メントを重んじ家族を大切にする中華圏の人々は、多少高価な商品であつても、相手や家族に喜んでもらえる、もっと言えばプレゼントして恥ずかしくない商品を購入したいと考えるようです。

商品提案に当たつては、実際の販売時期を想定して、今、香港の消費者やバイヤーが何を求めてい

工芸品にみる

鹿児島の「黒」

ふるさと特産運動推進指導員

工芸品担当 惠原要

「売れる！特産品づくり
ワークショップ」

参加企業募集中！

2014かごしまの新特産品
コンクール出品商品募集中！

特産品協会インフォメーション



人がものに對したとき、色は、その印象を決定づける大きな力を持つています。

また、商品のマーケティングにおいても、色は重要な因子として扱われています。

色は、さまざまなイメージを喚起します。

「黒」は、強い色。マイナスイメージもありますが、反面、何色にも染まらない、全てを包み込む、神秘、自信、威厳、安定、機能的、高級感といったイメージも強いものがあります。

鹿児島の特産品を見渡してみると、「黒」が多いことがあります。

「黒」が多いこと

に気づかされますが、特に食品では、黒牛、黒豚、黒糖、黒酢など枚挙にいとまがありませんが、こ

こでは、工芸品の黒に目を向けています。

まず、筆頭に

揚げられるのは、何と言つても本場大島紬の泥染めの黒。明治時代には、その名は全国にとどろき、世の女性達の地位を築きました。泥染めの独特の黒は、他の追随を許さない趣が感じられます。

川辺仏壇も、黒の漆塗りがベースとなっています。漆の深い黒は、谷崎潤一郎の名著、「陰翳礼讃」で、日本人の美意識としてその美しさが語られています。

同じく国の伝統的工芸品に指定されている薩摩焼にも、白薩摩に対して、黒薩摩があります。

黒は、有彩色を引き立たせる効果があり、器に盛られた料理の食材の色を際立たせます。

また、焼酎文化と切って離すことのできない黒千代香は、独特的の形と色が好まれてきました。

近年では、色鮮やかな薩摩切子にも、黒切子が誕生し、人気を博しています。

鹿児島県と当協会では、国内外の地域や市場に即した国際性の高い商品開発から市場拡大を支援するため、流通の専門家や現地商社、及び県内製造企業等で構成するワークショップを、①国内市場（食品のみ）、②海外（中国）市場（食品・工芸品）の3部門設置し、商品開発市場展開に取り組みます。

(1) 商品開発への取り組み

ワークショップ（国内市場・中国市場）を3回実施し、マーケティング・商品開発・販路拡大等の基礎的知識の研修や商品求評会、及び販売戦略会議を実施します。

(2) 市場拡大に向けた取り組み

市場調査及び先進地視察を11月に行い、3月よりワークショップでの検討を踏まえ開発した新商品の中から、アドバイザーが選定した商品を数点、各市場において一定期間販売し定番化を図ります。

（お問い合わせ）

企画開発課・流通企画課

○審査会・表彰式

日時：平成26年10月16日(木)

9時30分～16時10分

会場：鹿児島サンロイヤルホテル2階

（太陽の間）